

車両進行方向に対して後向き  
 でご使用の場合、図のように赤  
 いラインが垂直になるよう調  
 整してください。  
 (38ページ参照)

### 角度チェッカー

チャイルドシートを後向き  
 で取り付けるときの目安と  
 してお使いください。

### コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コン  
 シューマープラザ(Customer Service Center)  
 までご連絡ください。  
 コンシューマープラザ  
 (Customer Service Center)  
 〒339-0025  
 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271  
 TEL.(048)797-1000  
 FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ  
 (Customer Service Center) 西日本担当  
 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18  
 TEL.(06)6536-0456  
 FAX.(06)6536-4468

インターネット上に育児コミュニティを開設しています  
 コンビの育児応援サイト・コンビタウン  
<http://www.combibaby.com>

115936010  
 07.09

# Combi

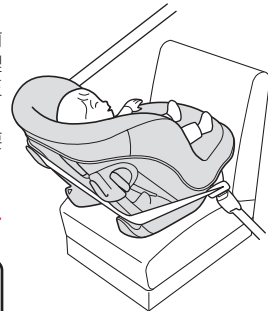
## コンビ チャイルドシート コッコロEG/コッコロS

### 取扱説明書 (品質保証書付)

- お子さまの安全のため、ご使用前  
 に必ず本書をよく読み、十分ご理  
 解の上、記載された内容に従い正  
 しくご使用ください。
- 50ページの品質保証書に、必要  
 事項をご記入ください。
- 本書はシートカバー側面ポケッ  
 トに保管してください。(5ペー  
 ジ参照)



体重9kg未満は必ず後向きで  
 ご使用ください。前向きでの使用  
 は非常に危険です。



汎用型 質量グループ0.1  
 体 重 ~18kg以下の乳幼児用

お使いいただく前に

車に取り付ける前に

車への取り付け

お手入れ





## お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしもお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者の方が同乗してください。

### ●表示について

この取扱説明書では、安全に正しくお使いいただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したものです。大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。
 <b>ワンポイント</b>	チャイルドシートを使用する上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

## もくじ

### お使いいただく前に

お使いいただく前に	1
各部のなまえ	3
使用条件	7
シートベルトの種類と使用上の注意	9
取り付けできない座席	11
安全にお使いいただくために	13

### 車に取り付ける前に

インナークッションの使いかた	21
肩ベルト通し穴の位置の決めかた	23
お子さまの座らせかた	27
いらっしゃいベルトの使い方 (EGのみ)	30

### 車への取り付け

車への取り付け	31
取り付け準備	32
後向き取り付け	33
後向き取り付け完了チェックのしかた	40
前向き取り付け	41
前向き取り付け完了チェックのしかた	44

### お手入れ

シートカバーの外しかた・ 取り付けかた	45
洗いかた	47
保管・廃棄のしかた	48
製品仕様	49
品質保証書	50
角度チェッカー	表紙裏

# 各部のなまえ

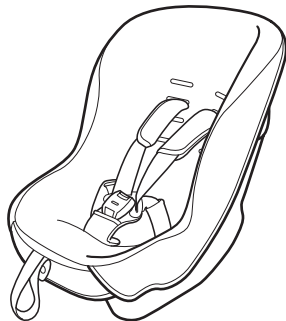
ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。





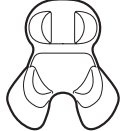

お使いいただく前に

## 梱包内容

● 本体



● インナークッション

EGタイプ	Sタイプ
頭部用 	頭部用 
座面用 	座面用 

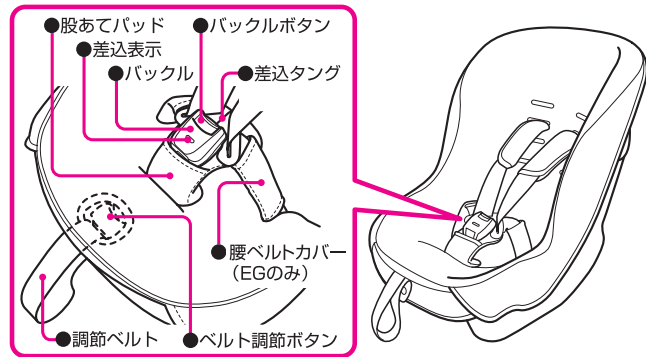
● 取扱説明書



● お客様登録カード



## 正面

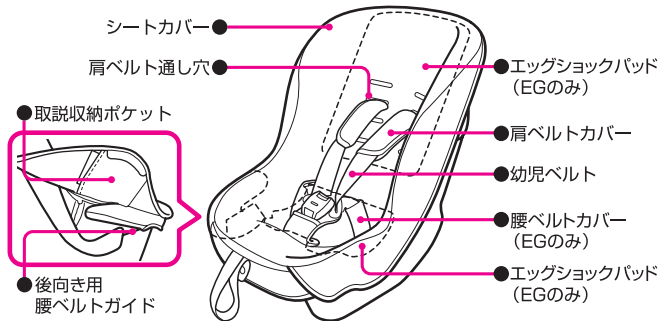


お使いいただく前に

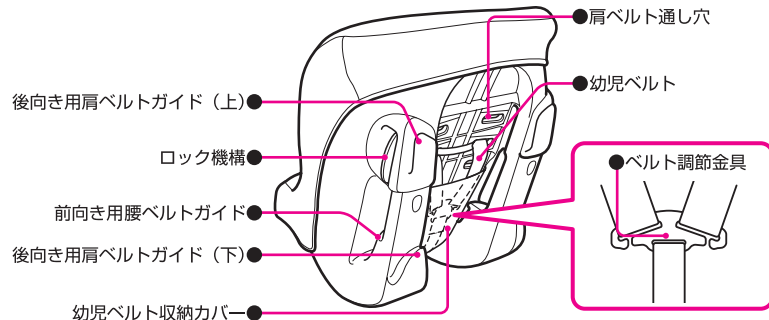
## 各部のなまえ

お使いいただく前に

### 正面



### 背面



お使いいただく前に

# 使用条件

お使いいただく前に

ここでは、お子さまの体重による取り付けの向き、インナークッションの使いかたを説明しています。お子さまの体重にあわせて正しくお使いください。

お子さまの体重にあわせて、3段階の使いかたをします。

## 1 体重7kg未満の場合

身長目安：～60cm程度  
年齢目安：新生児～4ヶ月ころ  
(首がすわるころ)  
※新生児とは、体重2.5kg以上かつ  
在胎週数37週以上。



その他の条件

- 後頭部がインナークッションからでないこと

使いかた

- 進行方向に対して後向き
- インナークッションを必ず使用する



**注意** 長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間程度を目安に休憩をとるなどしてください。

## 2 体重7kg以上～10kg未満までの場合

身長目安：60cm～75cm程度  
年齢目安：4ヶ月(首がすわるころ)～1才ころ



その他の条件

使いかた

- 進行方向に対して後向き
- インナークッションは使用禁止

## 3 体重9kg以上～18kg以下までの場合

身長目安：75cm～105cm程度  
年齢目安：1才～4才ころ



その他の条件

- 後頭部がチャイルドシート  
の背もたれから上に出ないこと

使いかた

- 進行方向に対して前向き
- インナークッションは使用禁止



**危険**

- 体重9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでの使用は非常に危険です。
- 「身長目安」や「年齢目安」はあくまでも目安です。身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまはお使いになれません。

お使いいただく前に

## シートベルトの種類と使用上の注意

お使いいただく前に

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。本装置はUN/ECE規則No.16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

※日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。  
<http://www.combibaby.com>

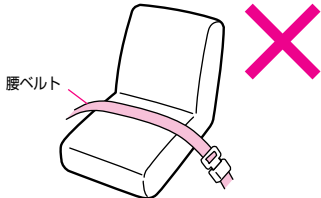


**危険**

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

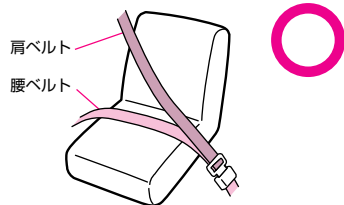
### 2点式シートベルトとは

図のように、左右の腰ベルトの2点で体を支えるシートベルトのこと。



### 3点式シートベルトとは

図のように、左右の腰ベルトと肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



お使いいただく前に

シートベルトの種類と特徴 (見分け方)	後向き取り付け注意点	前向き取り付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に入出しし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。本製品のロック機構により固定してください。
AELR ベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、 <b>チャイルドシート固定機能を解除してから</b> 取り付けてください。	シートベルトを全て引き出し、 <b>チャイルドシート固定機能をきかせた状態</b> で、本製品のロック機構により固定してください。
NR 巻き取り装置の付いていないシートベルト。	チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、固定してください。	チャイルドシートに合わせてベルトの長さを調節し、本製品のロック機構により固定してください。
NLR ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	<b>使用できません。</b>	

# 取り付けできない座席

お使いいただく前に

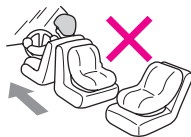
## 取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- シートベルトの付いていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 座席の奥行きが40cm未満の場合。



- 極端なバケットシート。  
…座面の中央が深くへこんでいる座席。



- パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



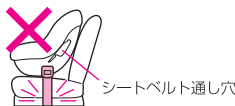
- エアバッグ装備の座席。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



- シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



- 座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- シートベルトの取り付け幅\*が32cm未満の場合。

※シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。



- シートベルトの長さが極端に短い座席。



お使いいただく前に

# 安全にお使いいただくために



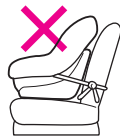
## ⚠ 危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件に**適合しない**お子さま・座席・取付方向などでは、使用しないでください。



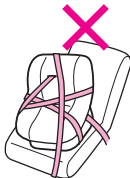
- 車に取り付けるときは、必ず**車のシートベルト**で固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもの



- お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり**、**中腰**になったり、**正座**をしないように注意してください。座らせたときには、お子さまに**股あてパッド**、**幼児ベルト**が正しく装着され、左右の**差込タンク**がしっかりバックルに差し込まれ、**表示が緑色**に変わっていることを確認してください。



- 車に取り付けるときは、シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。



## ⚠ 危険

- エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを**使用しないでください**。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。  
…サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



- 車のシートベルトおよび座席の種類などにより、**取扱説明書**どおりにチャイルドシートを**しっかり固定**できないときは、他の座席に取り付けてください。



## ⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



**警告**

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
- 幼児ベルトは正しい長さに調節してください。(29ページ参照)



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



- バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は、修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。



- 7kg未満の小さな赤ちゃんを乗せる場合には、必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。



**警告**

- 幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問い合わせください。



- チャイルドシートにお子さまが乗った状態で運ばないでください。



- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来のはたらきをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれがあります。



## ⚠ 警告

次のような使いかたは、お子さまや同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

- お子さまがチャイルドシートに乗っていないときでも、必ずシートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日ざしの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者の方が同乗してください。



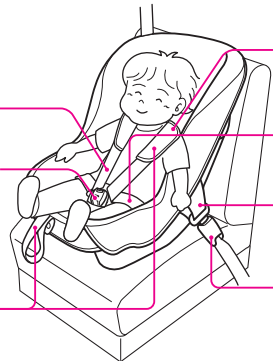
## ⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

幼児ベルトにねじれやたるみがないこと

差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が緑色に変わっていること

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること（調節ベルトを引いてフィットさせてください）



幼児ベルトが肩ベルト通し穴の正しい位置にセットされていること

お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること。

車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと

車のシートベルトの差込金具がしっかりとバックルに差し込まれていること

※イラストは前向き使用例

## 安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

### ⚠ 注意

- 直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部をさわわり、熱くないことを確認してから使用してください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。この取扱説明書に記載されている使いかたで使用してください。



- チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- チャイルドシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



### ⚠ 注意

- シートクッションなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- 座席の表皮素材(革など)および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビズレ防止・保護シート」の使用をおすすめいたします。

- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。

- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たる可能性があります。



いらっしゃいベルト(EGのみ)には、磁石を使用しています。次のことにご注意ください。

- ペースメーカーを装着しているお子さま、保護者のかたは、本製品を使用しないでください。磁石に接近すると誤作動をまねくおそれがあります。



- 磁気による損傷を受けやすいものは、近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)

- 磁石部に異物がついていないことを確認してからご使用ください。誤飲のおそれがあります。



お使いいただく前に

## インナークッションの使いかた (7kg未満のお子さまには)

インナークッションは、小さな赤ちゃんを保護するためのものです。お子さまの体重が7kg未満の場合には、インナークッションをお使いください。(工場出荷時、インナークッションは取り付けられています)また、7kg以上になりましたら必ず取りはずしてください。

警告

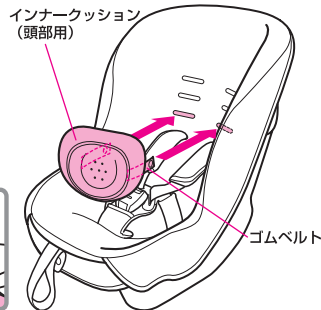
- インナークッションが使用できるのはお子さまの体重が7kg未満までです。7kg以上で使用すると、本来の機能を果たさず危険です。
- インナークッション(頭部用)とインナークッション(座面用)は、どちらか片方のみでは使用しないでください。必ずセットでお使いください。

注意

- チャイルドシートを持ち運ぶときには、インナークッションを持たないでください。



- 1 インナークッション(頭部用)凸部がお子さまの首に合うように位置を決め、ゴムベルトを肩ベルト通し穴に通します。



- 2 図のようにゴムベルトのホックをとめます。



- 3 インナークッション(座面用)をのせて取り付けます。



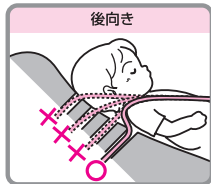
# 肩ベルト通し穴の位置の決めかた



肩ベルト通し穴の位置は、後向きと前向きで選ぶ位置が異なります。取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。

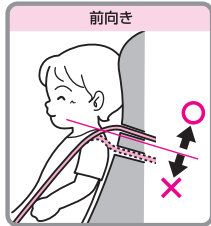
## ●後向き取り付け時の肩ベルト通し穴位置

後向き取り付けのときは、必ず最下段の肩ベルト通し穴を使用してください。



## ●前向き取り付け時の肩ベルト通し穴位置

前向き取り付けの時は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。



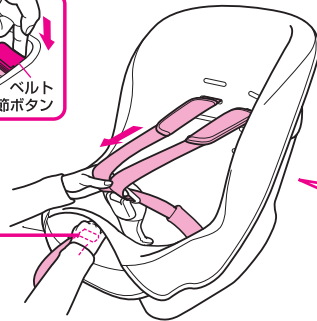
1 お子さまをチャイルドシートに座らせ、正しい肩ベルト通し穴の位置を確認めます。



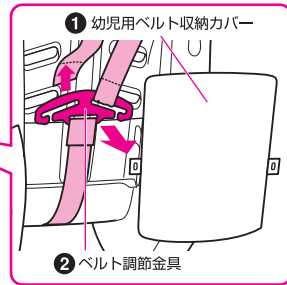
警告

- 肩ベルト通し穴位置は、取り付け方向により適正な位置を選んで使用してください。
- 肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。
- チャイルドシートが不安定な状態でお子さまを座らせると、転倒のおそれがあります。お部屋などで確認される時は、ご注意ください。

2 ベルト調節ボタン(オレンジ色)の「PRESS」を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。

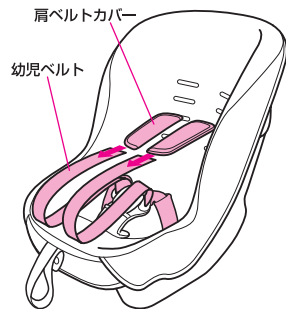


3 ①本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。  
②ベルト調節金具から幼児ベルトをはずす。

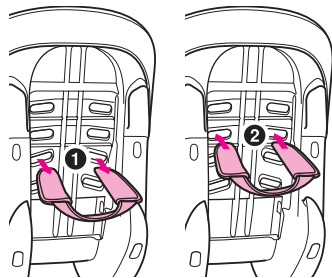


## 肩ベルト通し穴の位置の決めかた

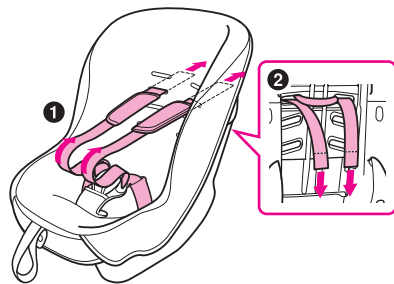
- 4** 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。



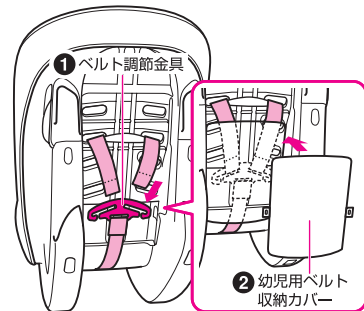
- 5** ①肩ベルトカバーを、本体背面に、片方ずつ引き抜く。  
②肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。



- 6** ①肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通す。  
②本体背面に引き出す。



- 7** ①幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、②幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。



# お子さまの座らせかた



警告

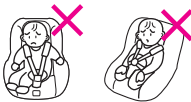
あらかじめ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体に合わせてください。

(23~26ページ参照)

- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。



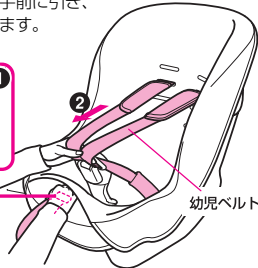
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、乗せないでください。
- かさばったベビーウェアを着せたまま、乗せないでください。
- お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 1 ベルト調節ボタン(オレンジ色)の「PRESS」を押しながら、2 左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめます。



1  
ベルト調節ボタン



幼児ベルト



- 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っ張りながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

- 2 1 バックルボタンを押して、差込タンクを抜き、2 **お子さまを深く座らせて**、左右の腕を幼児ベルトに通します。



1  
バックルボタン



差込タンク

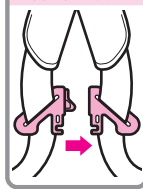
左右の幼児ベルトがねじれていないこと



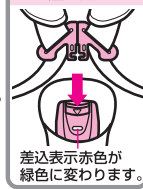
- 後向き使用時は、車の室内側からお子さまを乗せ降ろしすると、車のシートベルトがじゃまになりません。

- 3 左右の差込タンクを組み合わせてから「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込みます。

左右を組み合わせ



差し込む



差込表示赤色が緑色に変わります。



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。



警告

- 左右の差込タンクが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

## お子さまの座らせかた

- 4** 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。



お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること。

- ワンポイント** ●お子さまと幼児ベルトの間に、**大人の手のひらが入るくらいが適切です**。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。



- 警告** ●必ずベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。  
●幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

## いらっしやいベルトの使い方 (EGのみ)

いらっしやいベルトはお子さまの乗せ降ろしをスムーズに行うための補助機能です。



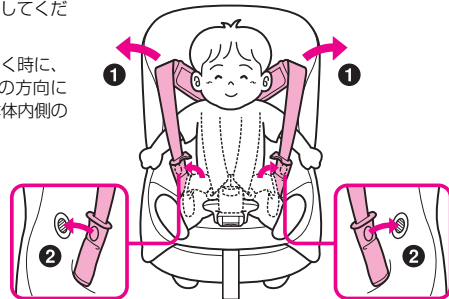
いらっしやいベルトには、磁石を使用しています。次のことにご注意ください。

- ペースメーカーを装着しているお子さま、保護者のかたは、本製品を使用しないでください。磁石に接近すると誤作動をまねくおそれがあります。
- 磁気による損傷を受けやすいものは、近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)
- 磁石部に異物がついていないことを確認してからご使用ください。誤飲のおそれがあります。

お子さまを降ろす時に次の使いかたをしてください。

- 1** お子さまの腕を幼児ベルトから抜く時に、  
**①** 幼児ベルトを手でもち、矢印の方向に引っ張る。**②** 腰ベルトカバーと本体内側の○マーク部分を合わせる。

- ワンポイント** ●腰ベルトカバーと本体内側の○マーク部分に磁石が入っています。2つのマークを合わせるようにするとくっつきます。



## 車への取り付け

ここでは、取り付け上の注意、後向きの取り付けかた、前向きの取り付けかたを説明しています。

※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは11～12ページを参照してください。

### 危険

- チャイルドシートがしっかりと固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、大変危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合には、使用できます。

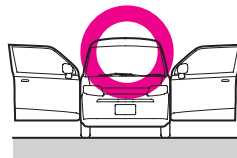
### 警告

- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- 助手席にチャイルドシートを取り付けてドアミラーが見えにくい場合は、後部座席に取り付けてください。
- お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定しておいてください。
- シフトノブやサイドブレーキなど運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取付けしないでください。
- 2ドア車、3ドア車で後部座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。

## 取り付け準備

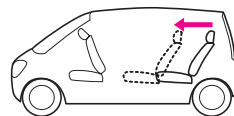
### 取り付け作業の前に

- 1 取り付け作業は、ドアが全開可能な、平らな場所で行なってください。

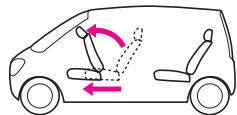


### 取り付け座席のスライド機能について

取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。



- 2 車内の作業スペースを確保するため、前席をたおしたり、スライドさせてから取り付けしてください。



## 後向き取り付け (体重10kg未満のお子さま)

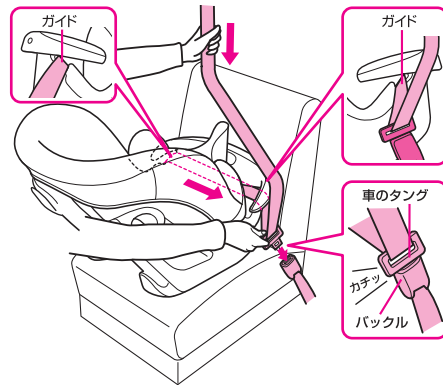
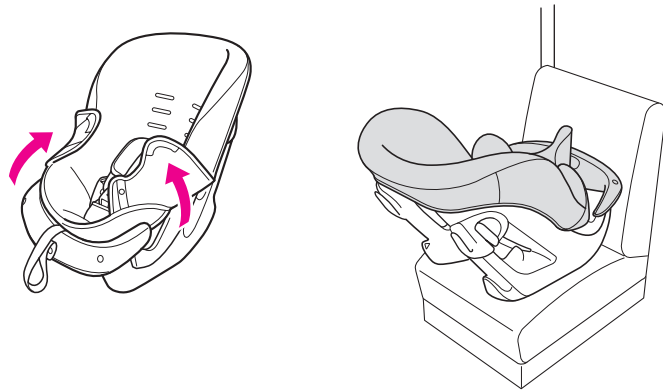


**1** シート前部のホック2カ所・側面フック2カ所をはずし、シートカバーをめくる。

**2** 本体を車の座席に後向きでのせる。

**3** 車のシートベルトを引き出し、腰シートベルトを後向き用腰ベルトガイドにかける。

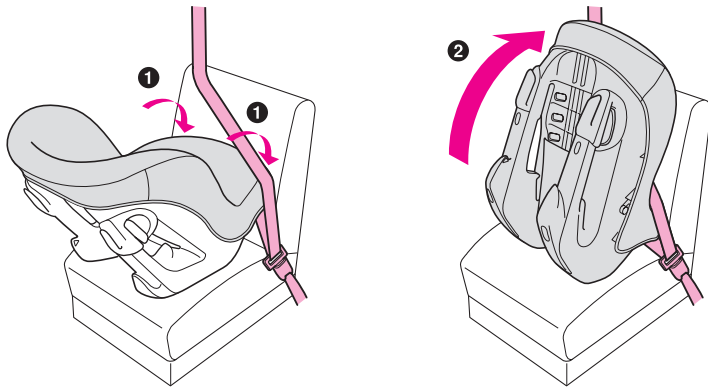
**4** シートベルトにねじれがないことを確認し、車のタングをバックルに差し込む。



## 後向き取り付け (体重10kg未満のお子さま)

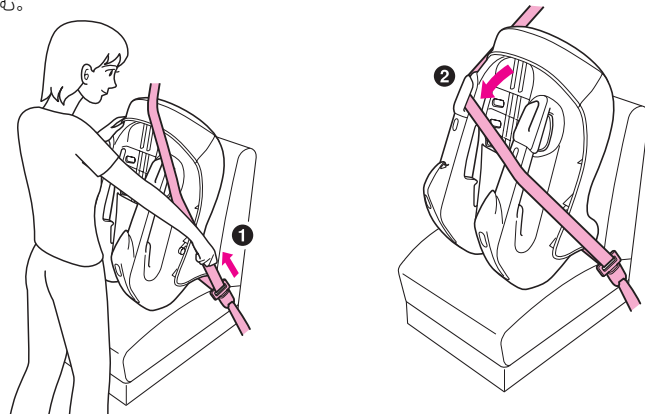


- 5** ①はずしたシートカバーをもどして、  
②矢印の方向へ本体を起こす。



車への取り付け

- 6** ①ベルトを矢印の方向に強く引き、  
②肩シートベルトを車のバックルと反対側の後向き用肩ベルトガイド1カ所にはさむ。

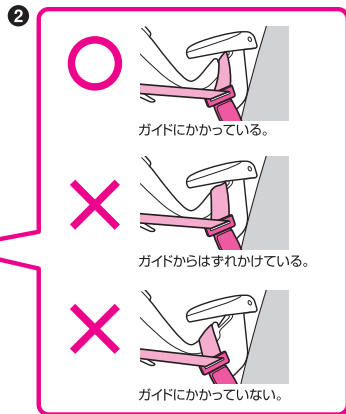
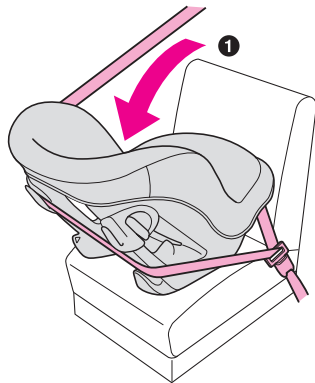


車への取り付け

## 後向き取り付け (体重10kg未満のお子さま)



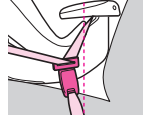
- ① 矢印の方向へ本体を寝かせる。
- ② 腰シートベルトが、左右の後向き用腰ベルトガイドにかかっていることを確認する。



### 警告



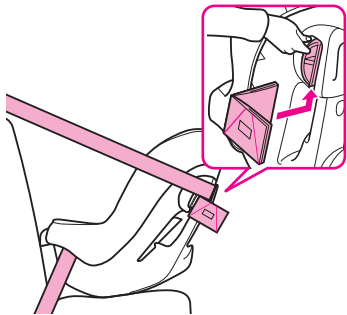
- 車のタング・バックルが後向き用腰ベルトガイドにあたると、取り付けが不安定となりますので、取り付け直すか、その座席での使用を中止してください。



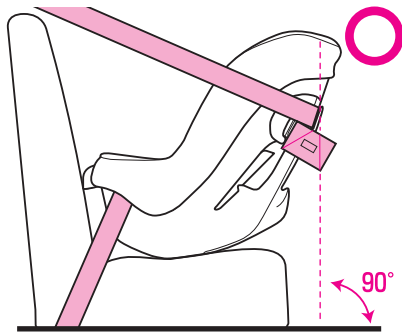
- バックルの根元が、後向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けできません。

ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

- ⑧ 取扱説明書裏の角度チェッカーを使用し、背面の角度を調整する。  
取扱説明書を真ん中のページで開き、図のようにロック機構にはさむ。



- 9 角度チェッカーのラインを垂直になるよう調整する。

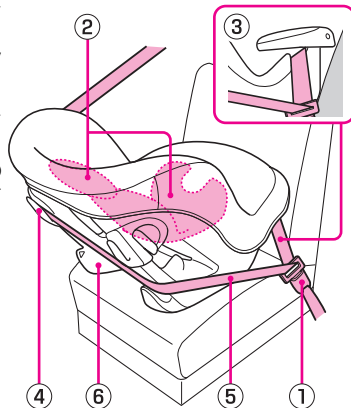


## 後向き取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①シートベルトのタングがバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと
- ②お子さまの体重が7kg未満の場合は、インナークッションが取り付けられていること
- ③腰シートベルトが左右の後向き用腰ベルトガイド2カ所にかかっていること
- ④肩シートベルトが車のバックルと反対側の後向き用肩ベルトガイド1カ所にかかっていること
- ⑤シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと
- ⑥角度チェッカーにより、適正な角度になっていること

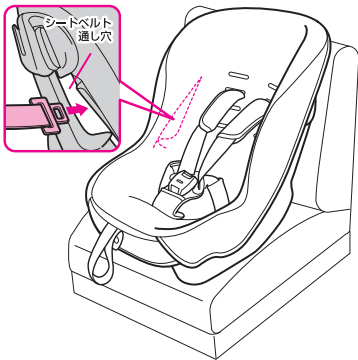
ワンポイント ● 後向き取り付けは、本体底面が円弧形状になっておりますので、取り付け後に背面の角度を調整することができます。



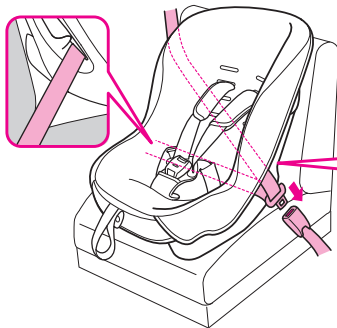
# 前向き取り付け (体重9kg~18kg未満のお子さま)



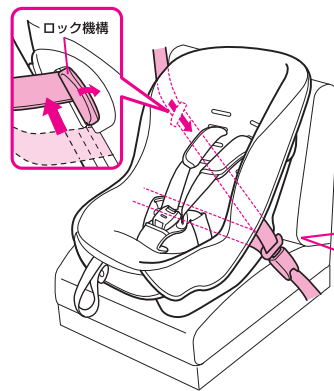
**1** 本体を車の座席に前向きでのせ、車のシートベルトを引き出し、シートベルト通し穴に通す。



**2** 反対側の通し穴からシートベルトを引き出し、ねじれないことを確認し、車のタンクをバックルに差し込む。このとき腰シートベルトが左右の腰ベルトガイドにかかっていることを確認する。

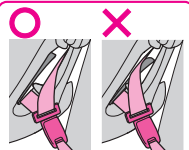


**3** 車のバックルと反対側のロック機構を開き、すき間に肩シートベルトを通す。



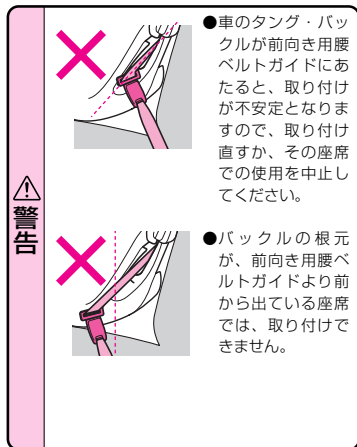
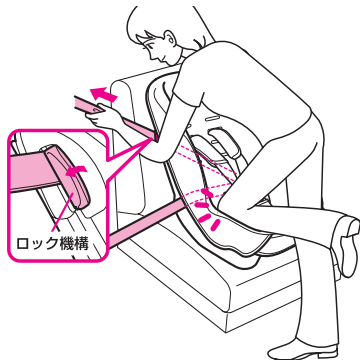
**注意**

●肩シートベルトが、幼児ベルト収納カバーの外側を通っていることを確認してください。内側を通っていると収納カバーが変形するおそれがあります。



## 前向き取り付け (体重9kg~18kg未満のお子さま)

**4** チャイルドシートにひざを乗せて体重をかけながら、バックルと反対側の肩シートベルトを引き、ゆるみを取る。シートベルトが引き込まれないように、ロック機構を矢印の方向に押し込みベルトをロックする。



●車のタング・バックルが前向き用腰ベルトガイドにあたると、取り付けが不安定となりますので、取り付け直すか、その座席での使用を中止してください。

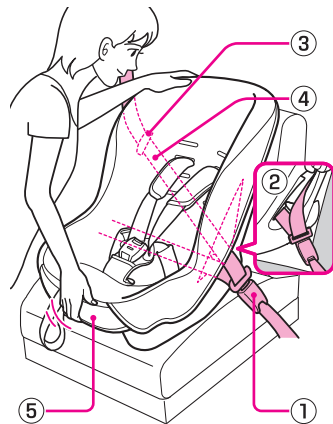
●バックルの根元が、前向き用腰ベルトガイドより前から出ている座席では、取り付けできません。

ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

## 前向き取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①シートベルトのタングがバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと
- ②腰シートベルトが左右の前向き用腰ベルトガイド2カ所にかかっていること
- ③肩シートベルトが車のバックルと反対側のロック機構1カ所にかかっていること
- ④シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと
- ⑤本体底面部分を前後左右にゆすり、3センチ以上動かないことを確認する。



# シートカバーのはずしかた・取り付けかた



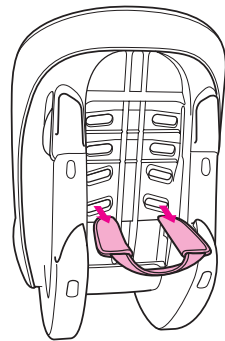
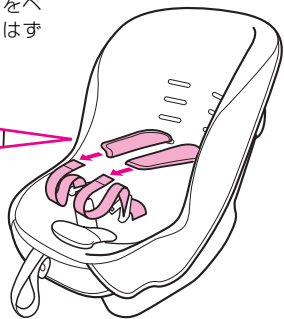
## シートカバーのはずしかた

① 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。

③ 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。

④ 肩ベルトカバーを片方ずつ引き抜く。

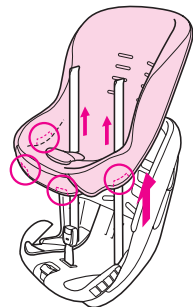
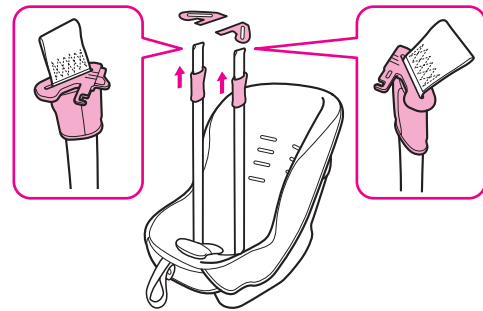
② 左右の幼児ベルトをベルト調節金具からはずす。



⑤ 差込タンク、腰ベルトカバー(EGのみ)を幼児ベルトからはずす。

※ 取りつける時は、左右表裏に注意してください。

⑥ 左右側面2カ所のフックシート前部のプレート2カ所をはずし、シートカバーをはずします。









お手入れ

お手入れ

## 洗いかた

### シートカバー、肩ベルトカバー、インナークッション(頭部用/座面用)の洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。 強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干してください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

### 本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。



●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

## 保管・廃棄のしかた

### 保管のしかた

#### 本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

#### 取扱説明書

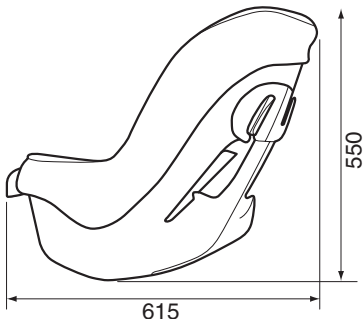
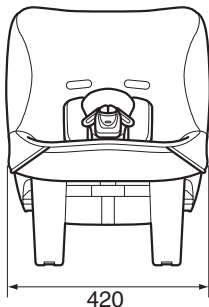
本書は、よくお読みのうえ、取説収納ポケットに保管してください。(5ページ参照)

### 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程にしたがい処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどはずして、破棄してください。

## 製品仕様

■製品サイズ：(W)420×(D)615×(H)550



■製品質量：本体………4.2kg(EG)  
3.9kg(S)

■材質：本体…ポリプロピレン、ポリスチレン、  
ウレタン(EGのみ)  
シートカバー  
表生地…ポリエステル  
クッション材…ウレタン